


# 生活科 1 年生 (かぜとあそぼう!!)

## ○単元計画・構成

項目	内容
実施時期	12 月ごろ
単元のテーマ名	かぜとあそぼう!!
単元計画・構成 (全6時間)	第1次 かぜとあそぼう～かざぐるまをまわそう～ (2時間) 第2次 かざぐるまをつくろう (4時間)
他の単元との関連	1 年生 生活科「むかしあそびをしよう」 2 年生 生活科「ウォーターパワーであそぼう!!」
単元の関連性	<p>1 年・生活科「むかしあそびをしよう！」 ・こま・たこ・お手玉など</p> <p>1 年・生活科「かぜとあそぼう!!」 ・かぜとあそぼう～かざぐるまをまわそう～ ・かざぐるまをつくろう</p> <p>3 年・理科「電気の通り道～電池パワーであかりをつけよう～」 ・電気を通すつなぎ方 ・電気を通す物</p> <p>2 年・生活科「ウォーターパワーであそぼう!!」 ・ウォーターパワーを感じよう ・水ぐるまであそぼう</p> <p>3 年・理科「風やゴムのはたらき」 ・風のはたらき ・ゴムのはたらき</p> <p>4 年・理科「電気のはたらき～乾電池と光電池～」 ・乾電池の数とつなぎ方 ・光電池のはたらき</p> <p>4 年・理科「空気と水の性質」 ・空気の圧縮 ・水の圧縮</p>
子どもが獲得する 見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風の力で動くおもちゃをつかって遊びながら，自然のエネルギーに気付くこと。</li> <li>・風の力で動くおもちゃを使って遊びながら，友達と自分のおもちゃを比べ，走る速さや風の方向により回り方が違うことに気付くこと。</li> <li>・自然エネルギーを大切に，賢く利用していく工夫や発想の素地を養うこと。</li> </ul>
教師の持つ指導ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃで遊ぶ活動を十分仕組み，風のエネルギーを体感させる。</li> <li>・五感を使って遊びながら，感じたことや願いを活動に取り入れ，風のエネルギーに気付くようにする。</li> <li>・風の力を体感したことを言葉で表現することで，お互いに共通理解させる。また，活動をふり返る場を設定し，児童の願いや工夫を確認し，次の活動へ生かす。</li> </ul>
評価規準	<p>(自然事象への関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通して自然のエネルギーを感じる体験活動に興味を持って参加している。</li> <li>・遊びを通して自然のエネルギーをどう利用すればものが動くかを考えている。</li> </ul> <p>(気付き)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風を利用した遊びを通して身の回りのエネルギーの存在に気付く。</li> <li>・遊びを通してわかったことを相手に伝えようとしている。</li> </ul>

○学習指導全体計画案(指導項目)テーマ名：かぜとあそぼう！！（全6時間）

学習過程	指導と支援 準備物, 教師の働きかけ・関連資料, 指導上の留意点
<p>1. かぜとあそぼう～かざぐるまをまわそう～（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の天気についての気付きの発表</li> <li>・かぜをさがそう（かぜマップ）</li> <li>・かぜとあそぼう（かざぐるま）</li> </ul> <div data-bbox="167 526 694 817" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>どのようなときに風を感じるかについて話し合った後、「かぜをさがそう」に取り組む。外に出て旗がなびくところ、ビニール袋で風を集める(空気の手応え等), など行いながら, 目に見えない風を形として捉えさせる。(広島県小学校教員)</p> </div>	<p>○冬の天気についての今までの経験を話し合い, 季節によって風のふき方が違うことを理解させる。どのようなときに風を感じるかについても話し合わせ, 学習への意欲を喚起する。</p> <p>○「かぜをさがそう」という課題に取り組み, 風の動きをマップに記入し, 風の存在に気が付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールを持って走り, 風を体感させる。</li> <li>・地域の方のつくられたかざぐるままで遊びながら, 目に見えない風を目に見える形にすることで, 風の存在を気付かせる。また, 次の活動への意欲も高めていくようにする。</li> </ul>
<p>2. かざぐるまをつくろう（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かざぐるまをつくって遊ぶ。</li> <li>・自分のかざぐるまをつくる。 自分や友達のかざぐるままで遊ぶ。</li> <li>・もっと〇〇したい</li> </ul> <div data-bbox="263 1153 550 1691" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">かざぐるまをつくって遊ぶ子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことを発表し合う。</li> </ul>	<p>○地域の方に教えてもらい, かざぐるまづくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方のポイントが理解できるように図示する。</li> <li>・製作に入る前に, 安全面の指導を十分に行う。</li> <li>・自分のつくりたいかざぐるまをイメージさせるために, どんなかざぐるまがつくりたいのかを考えさせ, カードに書かせる。</li> <li>・つくりたいものがつくれるように, 材料を事前に集め, たくさん用意しておく。</li> <li>・何回かつくっては遊び, 遊んではつくるという活動を通していく中で, 支援を行い活動の質(意欲・気付き・関わり合い)を高めていく。</li> <li>・活動中に肯定的な言葉がけをして, 児童の気付きや関わり合いを深めさせる。</li> <li>・速く回す, くるくるとリズムカルに回すなど, 具体的に子どもたちからどうすればよいか意見に出させ, 活動の目当てにしていく。</li> <li>・かざぐるままで遊びながら, 友達と自分のおもちゃを比べ, 走る速さや風の方向により回り方が違うことに気付かせる。</li> </ul> <div data-bbox="861 1668 1364 1960" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>かざぐるまを回そう実験の時, 国語で学習した, どうしてかというなど, 理由を付けて言うことは, 国語で勉強した「はなし方」も関係があることを教える。(広島県小学校教員)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の内容を実際に試して確かめるようにする。</li> </ul>